

高校生が中学生へ「みどりの食料システム戦略」を伝える

札幌地域拠点が出前授業を行った農業高校生が、中学生に対して出前授業を企画・実施。「みどりの食料システム戦略」を自発的に広げる、将来を担う若い世代の動きを応援。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

みどりの食料システム戦略について、関係機関へ幅広く周知していたところ、学習の成果を中学生に伝える企画を検討していた北海道岩見沢農業高等学校から、「みどりの食料システム戦略」について、生徒へ説明して欲しいと依頼があった。

札幌地域拠点としては、将来を担う若い世代に理解していただく貴重な機会と捉え、食品科学科農食地域交流専攻班の1年生と2年生を対象として「学生と考えるみどりの食料システム戦略」と題して、令和5年3月8日に出前授業を実施。

○ 取組の内容

出前授業では、ポイントを絞って概要を説明した後、テーマ毎に3グループに分かれ、みどり戦略の推進に向け「今、私たちに何ができるか」について、自らの考えを発表するグループワークを実施。生徒からは、「学んだことを自身の今後の活動に活かしたいと考えるようになった」などの感想があった。

○ 効果・成果、今後の方向性

- ・その後、受講した生徒が自ら企画し、中学生に対して、みどりの食料システム戦略とSDGsに関する出前授業「これからの日本～私たちの「食」を守るために～」を実施している。
- ・引き続き拠点による農業高校の生徒に対するフォローアップを継続的に実施予定。



札幌地域拠点職員による
出前授業

岩見沢農業高校生による
中学生への出前授業

体制図

